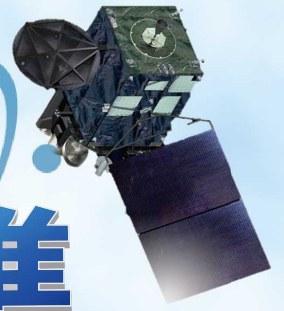


2019年度 気象ビジネス推進 コンソーシアムセミナー in 北九州



日時 令和元年12月3日（火）13：30～16：30（開場13：00）

場所 九州ヒューマンメディア創造センター マルチメディアホール
（北九州市八幡東区東田1-5-7 ※JR八幡駅から徒歩5分）

共催 気象ビジネス推進コンソーシアム（事務局：気象庁）
公益財団法人 北九州産業学術推進機構（FAIS）

後援：九州運輸局、北九州市、北九州商工会議所、公益財団法人九州経済調査協会

内容

【司会】坂本 京子 氏（防災士、気象予報士）

(1) 「気象ビッグデータの全体像とビジネスへの活用」

気象庁福岡管区気象台 気象防災部長 尾崎 友亮 氏

(2) 「気象情報等が経済にもたらす影響」

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部
主任研究員 松嶋 慶祐 氏

(3) 「電力需要予測のための気象データ活用」

西日本工業大学 工学部 総合システム工学科 電気情報工学系
准教授 亀井 圭史 氏

(4) 「グルーヴノーツのAIと気象データの活用事例」

株式会社グルーヴノーツ
セールス&アライアンス シニアディレクター 渡邊 一弘 氏

参加
無料

お申込み方法



事前の参加お申し込みが必要です（参加費無料 定員100名）
https://realmedialab.com/wxbc_seminar/fukuoka
※電話・FAXでの受付は行なっていません。ご了承ください。



2019 年度 気象ビジネス推進コンソーシアムセミナー in 北九州

< 内容 >

1 セミナー

(1) 「気象ビックデータの全体像とビジネスへの活用」

気象庁が保有する気象ビックデータの全体像を説明し、その入手・活用方法について紹介します。

(2) 「気象情報等が経済にもたらす影響」

地震等、災害の影響と復旧・復興状況を経済・社会指標をもとに分析した事例を紹介します。
また、気象データと景気動向の関係性について、研究事例を紹介します。

(3) 「電力需要予測のための気象データ活用」

電力需要の変動要因は多数考えられますが、中でも気象の影響が大きいと考えられます。
ひびきの AI 社会実装研究会の活動の一環として、同研究会のメンバーである日鉄エンジニアリングおよび西日本工業大学を中心とするグループによる機械学習や人工知能による電力需要予測を気象データ活用事例として紹介します。

(4) 「グルーヴノーツの AI と気象データの活用事例」

グルーヴノーツが独自に開発するクラウド AI プラットフォーム「MAGELLAN BLOCKS (マゼランブロックス)」では、全国 155 ヶ所の気象データを予測因子としてそのまま活用できるサービスを提供しています。
気象データをはじめ、数値 / 画像 / 文書等の様々なデータをもとにした高精度な AI 予測、さらには量子コンピュータを活用したビジネス最適化の事例を紹介します。

2 体験コーナー

休憩時間やセミナー終了後、より詳細な説明や体験いただける場を設けます。

< セミナーの詳細 >

気象ビジネス推進コンソーシアム ホームページ

https://www.wxbc.jp/event/20191203_seminar-fukuoka/

< 会場・アクセス >

九州ヒューマンメディア創造センター マルチメディアホール

北九州市八幡東区東田 1-5-7

電話：093-695-3077

※JR 八幡駅より徒歩 5 分

※駐車場がありません。

お越しの際は、公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場（JR 八幡駅立体駐車場（100 円 / 時間）、コインパーキング）をご利用ください。



■ 内容に関するお問い合わせ

福岡管区気象台総務部業務課
電話：092-725-3603

■ 受付に関するお問い合わせ

気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）事務局（受付担当）
電話 / FAX：045-503-0211

